令和７年度広島県保健師助産師看護師実習指導者講習会（特定分野）募集要項

（２週間講習）※受講対象施設の制限あり

１　目的

看護教育の充実向上のため、特定分野※における実習施設において実習指導の任にある実習指導者又は、これらの施設で実習指導者となる予定の者が、実習の意義及び実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導ができるよう、必要な知識・技術を修得することを目的とする。

〔※特定分野とは〕

- 保健師養成所における公衆衛生看護学
- 助産師養成所における助産学
- 看護師養成所における老年看護学、小児看護学、母性看護学及び地域・在宅看護論
- 准看護師養成所における老年看護及び母子看護

２　主催者／委託実施機関

主催者：広島県　／　委託実施機関：公益社団法人　広島県看護協会

３　開催期間

開催期間　令和７年７月 23 日（水）～８月１日（金）の計８日間（42 時間）（予定）
研修時間　原則として午前９時 15 分～午後４時 15 分

４　開催場所

広島県看護協会会館（〒730-0803　広島市中区広瀬北町９－２）

５　受講資格

次の(1)から(3)のいずれにも該当するものとする。

(1) 保健師、助産師、看護師として、３年以上の臨床経験を有する者（令和７年３月 31 日現在）
（※准看護師としての臨床経験は含まない）

(2) 次のいずれかに該当する者であって、現に実習指導者の任にある者又は将来実習指導者となる予定の者

	受講対象者	実習施設（例）
ア	・保健師養成所における公衆衛生看護学実習を行う、病院以外の実習施設の保健師	市町村、保健所、地域包括支援センター、事業所　等
イ	・助産師養成における助産学実習を行う、病院以外の実習施設の助産師所の助産師 ・助産師養成所の実習施設である小規模な病院の助産師	診療所、助産所、保健所、市町村保健センター、母子保健センター、小規模病院　等
ウ	・看護師等養成所における老年看護学実習、小児看護学実習、母性看護学実習又は地域・在宅看護論実習を行う、病院以外の実習施設の保健師、助産師又は看護師 ・看護師養成所における小児看護学実習及び母性看護学実習を行う実習施設のうち単科で小規模な病院の助産師又は看護師	診療所、訪問看護ステーション、介護老人保健施設、保健所、地域包括支援センター、小規模単科病院等
エ	・准看護師養成所における老年看護実習又は母子看護実習を行う、病院以外の実習施設の保健師、助産師又は看護師 ・准看護師養成所における母子看護実習を行う実習施設のうち単科で小規模な病院の助産師又は看護師	診療所、介護老人保健施設、小規模単科病院　等

※　小規模単科病院：特定分野に該当する 100 床未満の単科の病院で、特定分野の修了者が特定分野以外の実習指導を行うことが無い場合受講可能とする。

(3) 全日程の出席が可能な者

６　受講定員

40 名程度

７　教育内容および授業時間数

別紙「令和７年度広島県保健師助産師看護師実習指導者講習会（特定分野）教育内容」のとおり
（※国の「特定分野における保健師助産師看護師実習指導者講習会実施要綱」に準ずる内容）

８　修了証の交付

原則として、全科目、全時間の履修をもって修了と認め、修了者には県知事名による修了証を交付する。

９　受講料等

県内者　１人 10,000 円（※県内受講者とは、広島県内に現在の就業先及び就業予定所がある者をいう）
県外者　１人 20,000 円

※　受講者の宿泊費・交通費・食費・図書費・資料費等の必要経費は、受講者の負担とする。
※　受講料の徴収については、受講決定後、別途看護協会より通知する。所定の期日までに受講料を納付しない者は、受講の決定を取り消す。また、理由の如何に関わらず、徴収した受講料は返還しない。

10　受講者決定

受講者は、提出書類の選考により決定し、選考結果は、県から所属施設長あてに通知する。
なお、受講決定後に参加辞退することのないよう、全日程参加できる者を推薦すること。諸事情により参加できなくなった場合は、早急に連絡すること。

11　提出書類

★様式は「ひろしまナースネット」からダウンロードして作成すること

⇒検索サイトで「ひろしまナースネット」と検索し、新着情報の該当ページにアクセス

（注意！）この募集要項の特定分野の講習会（2 週間）と別途募集している講習会（8 週間）を間違えないこと

（1）受講申請書（別紙様式１）
※　受講申請は受講者個人ではなく、所属機関からの申請とする。

（2）施設長の推薦書（別紙様式２）
※　受講者が所属する施設長による推薦書であること。
※　推薦書の押印は不要とするが、必ず所属機関により作成すること。

（3）受講希望者個人調書（別紙様式３）
※　別紙記載要領に従い、本人が記載（Word での入力作成も可）すること。
※　所属施設の実習受入れ状況については、施設に確認して記入すること。

≪県外者について≫
・　県外者については、実習施設の所在する県の主管課を通じて提出すること。
・　複数の養成所からの希望がある場合は、県で推薦順位を附して提出すること。

12　提出期限

令和７年５月 19 日（月）必着

※ 個人情報が含まれるため、書留郵便（レターパックも可）で送付すること

13　書類提出先および問い合わせ先

住所：〒730-8511　広島市中区基町 10-52

　　広島県健康福祉局医療介護基盤課　医療人材グループ　宛

電話：０８２－５１３－３０５７（ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ）

14　その他

宿舎等は必要時各自で準備すること。

学習に使用するパソコン等は、各自で準備すること。

その他必要な準備等については、受講決定後、別途看護協会より通知する。

別紙

令和７年度広島県保健師助産師看護師実習指導者講習会（特定分野）　教育内容

教育内容	科目	学習目標	内容	時間数			授業形態
				総数	講義	演習	
教育の基盤	教育原理	教育の意義や基礎的な概念について学ぶ	＊教育の意義と目的 ＊教育活動の特徴	3	3		講義
	教育心理	人間の発達と学習過程における青年時の心理的な特徴について人間の成長・発達段階に合わせて理解する	＊青年心理学 ＊学習過程における心理				
	教育方法	教育の基本的な方法や技術、評価方法について理解する	＊教育方法 ＊教育方法と教材の活用 ＊評価の目的,評価方法	3	3		講義
実習指導の基盤	実習指導の実際Ⅰ（講義）	看護基礎教育の概要と実習に求められている課題を理解する	＊看護基礎教育課程・内容 課題	3	3		講義
		実習指導の基礎と実習指導者のあり方を理解する	＊実習の意義・目的・目標 実習指導者の役割	3	3		講義
	実習指導の実際Ⅱ（演習）	実習指導の展開について理解を深め、かつ、臨地実習の中で体験する指導場面別の役割や方法について演習を通して学ぶ	＊指導計画立案・指導方法 実習指導案の作成 ＊演習 24h に発表含む	30	6	24	講義 演習
計				42	18	24	

令和７年度広島県保健師助産師看護師実習指導者講習会（特定分野）【２週間講習】
申請書等記載要領

１　別紙様式１　申請書

- 施設からの申請とし、複数人を申請する場合は、推薦順位を記載する。
- 施設からの申請とする。（※押印は不要）

２　別紙様式２　推薦書

- 受講者が所属する施設長による推薦書であること。
- 必ず所属により作成すること。（※押印は不要）

３　別紙様式３　受講希望者調書

(1)「Ａ 受講希望者氏名等」欄

- 必ず受講申請者本人が記載すること。
- 年齢は、令和７年４月１日現在の年齢を記載すること。
- 写真貼付欄には、６か月以内に撮影した正面、脱帽、上半身像のもので、縦４cm×横３cm のサイズ（カラーでも白黒でも可）のものを貼付する。裏面に、所属名と氏名を記載しておくこと。

(2)「Ｂ 現在の勤務場所」欄

- 「現在の職名」は、勤務先での役職又は、役職のない場合は、看護師、助産師、保健師等の職名を記載する。
- 「現在の担当」は、現在の勤務場所で担っている教育、研究、委員会、検討会等の役割や係りを記載する。

(3)「Ｃ 学歴」欄

- 看護職に関わる専門学歴のみ記載する。
- 准看護師免許取得後に看護師免許を取得している場合は、准看護師に係る学歴も記載する。

(4)「Ｄ 職歴」欄

- 「就業場所」は、新しいものから記載し、欄が足りない場合は別紙に記載する。
- 「主な経験内容」は、病院等での勤務経歴は、「内科病棟」等の診療科名がわかるように記載し、看護師等養成所の勤務経歴は担当領域を記載する。
- 職歴が 7 行より多くなる場合は、「別紙に記載」とし、別紙に同様の内容を記載したものを添付する。

(5)「Ｅ 臨床経験年数」欄

- 令和７年３月 31 日現在の年数を記載する。
- 職種毎の全ての臨床経験年数を記載する。
- 職種ごとの勤務年数の合計は、原則として、職歴欄の就業年月の年数合計と一致すること。一致しない場合は、その理由を余白に記載すること。（例　12 か月育児休業）
- 准看護師免許取得後に看護師免許を取得している場合で、准看護師としての臨床経験がない場合でも、取得免許欄の准看護師には〇をする。

(6)「Ｆ 所属施設の実習受入状況及び実習指導予定」欄

＜① 所属施設の実習受け入れの有無＞

- 施設に確認し記載する。現在勤務する病棟などが実習病棟でない場合も、施設として受入れをしている場合は記載する。

＜② 現在の役割及び今後の予定＞

- 該当するものに〇をする。
- 現在実習指導をしていない場合は、今後の予定の記載については、所属機関に確認して記載すること。

(7)「Ｇ 志望の動機」

- この講習会の受講動機を記載する。
- 記載内容には、この講習会で学びたいこと、得たいこと、実習指導等で困っていること等を踏まえて、**記載欄を概ね埋める程度の内容を記載すること。**

(8) 「Ｈ 演習グループ希望」欄

- 講習会の中に「実習指導案の作成」の演習を行う際のグループ分けを行う参考とする。
- 必ず、第１希望と第２希望を記載すること。